

平成22年3月期
参 考 資 料

平成22年5月20日

NKSJホールディングス株式会社

(株式会社損害保険ジャパン分)

2010年3月期決算に関するご参考資料

1. 主要指標の推移

(単位：億円)

	2009年3月期 (前期)	2009年9月中間期 (当中間期)	2010年3月期 (当期)	前期比	
				前期比	当中間期比
①正味収入保険料 (増収率)	12,904 (△4.1%)	6,416 (△4.9%)	12,588 (△2.4%)	△315 (1.6%)	— (2.5%)
②総資産	48,564	50,086	50,292	1,727	205
③損害率	70.3%	74.7%	73.9%	3.5%	△0.8%
④事業費率	34.5%	34.2%	34.1%	△0.5%	△0.1%
⑤コンバインド・レシオ 収支残率	104.9% △4.9%	108.8% △8.8%	107.9% △7.9%	3.1% △3.1%	△0.9% 0.9%
⑥自動車 ・正味収入保険料 (増収率)	6,540 (△0.3%)	3,226 (△2.1%)	6,402 (△2.1%)	△137 (△1.8%)	— (△0.0%)
・収支残率	△4.0%	△2.2%	△4.8%	△0.8%	△2.6%
・損害率	70.0%	67.6%	70.6%	0.6%	3.0%
・事業費率	34.0%	34.7%	34.3%	0.2%	△0.4%
⑦火災 ・正味収入保険料 (増収率)	1,449 (△0.7%)	676 (△3.2%)	1,441 (△0.6%)	△8 (0.1%)	— (2.6%)
・収支残率	16.6%	12.4%	13.0%	△3.6%	0.6%
・損害率	40.3%	44.5%	44.2%	3.9%	△0.3%
・事業費率	43.1%	43.1%	42.8%	△0.3%	△0.3%
⑧従業員数	17,042人	17,481人	17,294人	252人	△187人
⑨代理店数	49,430店	47,336店	46,294店	△3,136店	△1,042店

<参考>連結指標

(単位：億円)

	2009年3月期 (前期)	2009年9月中間期 (当中間期)	2010年3月期 (当期)	前期比	
				前期比	当中間期比
①経常収益	17,679	9,187	18,077	398	—
②正味収入保険料 (増収率)	13,081 (△4.4%)	6,569 (△4.7%)	12,909 (△1.3%)	△172 (3.1%)	— (3.4%)
③生命保険料 (増収率)	1,240 (△26.1%)	587 (△12.4%)	1,318 (6.3%)	78 (32.4%)	— (18.7%)
④経常利益	△1,440	318	488	1,928	—
⑤当期純利益	△667	293	393	1,060	—

- 注1. 損害率 = (正味支払保険金 + 損害調査費) / 正味収入保険料 × 100
 2. 事業費率 = (諸手数料及び集金費 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) / 正味収入保険料 × 100
 3. コンバインド・レシオ = 損害率 + 事業費率
 4. 収支残率 = 100 - コンバインド・レシオ
 5. 前期比、当中間期比のうち、%表示のある項目は、それぞれの前期、当中間期との差率を記入しております。

2. その他参考指標

① 不良債権の開示

【リスク管理債権】

(単位：億円)

	2009年3月期	2009年9月中間期	2010年3月期
破綻先債権	4	8	8
延滞債権	24	22	20
3カ月以上延滞債権	—	—	—
貸付条件緩和債権	4	7	11
合計額	34	38	40
(貸付金残高に対する比率)	(0.7%)	(0.8%)	(0.9%)

(参考) 貸付金残高	5,020	4,823	4,761
------------	-------	-------	-------

【自己査定結果】

(単位：億円)

	2009年3月期	2009年9月中間期	2010年3月期
非分類	45,666	47,938	48,472
Ⅱ分類	533	587	616
Ⅲ分類	121	99	97
Ⅳ分類	896	171	148
(Ⅱ～Ⅳ分類計)	(1,552)	(857)	(862)
合計	47,218	48,796	49,334

(注) 上表は、償却前(評価損計上前)の金額を記載しており、有価証券等の減損処理額をⅣ分類額に含めて記載しております。

② 減損処理による有価証券の評価損

(単位：億円)

	2009年3月期	2009年9月中間期	2010年3月期
公社債	—	—	—
株式	675	39	25
外国証券	73	1	3
その他	37	0	0
合計	787	41	28

(注1) 損益計算書においてその他運用費用として処理されている買入金銭債権に係る評価損を、「その他」に含めて記載しております。

(注2) 上記のほか、損益計算書の「金銭の信託運用損」中に、金銭の信託の信託財産(有価証券)に係る減損処理による評価損が前期2億円あります。

・適用した減損処理ルール

時価のある有価証券については、時価が帳簿額(取得原価または償却原価)から「30%以上」下落した場合に、帳簿額と時価の差額を減損処理しております。

③ 米国サブプライムローン問題に関連する証券化商品などの損失発生状況

米国住宅ローン関連CDO保証の一部案件において支払備金を積み増したことから、金融保証保険全体で当期に発生した損失額(正味支払保険金、支払備金積増額および支払備金の為替ヘッジ損失の合計)は80億円となりました。

また、グローバル市場の混乱に伴う時価の下落等により、証券化商品の現物投資において当期に発生した損失は、0億円であります。

当社の証券化商品等に関連する投融資の状況などについては、別紙を添付しておりますので、参照願います。

④ 固定資産の減損処理

(単位：億円)

	2009年3月期	2009年9月中間期	2010年3月期
土地建物	—	—	3
その他の	—	—	0
合計	—	—	—
			3

⑤ 有価証券の含み損益

(単位：億円)

	2009年3月期	2009年9月中間期	2010年3月期
公社債	269	361	320
株式	3,382	5,041	5,800
外国証券	△447	△369	△198
その他の	2	30	40
合計	3,207	5,064	5,963

(注1) 買入金銭債権に係る含み損益を「その他」に含めて記載しております。

(注2) 上記のほか、運用目的、満期保有目的以外の金銭の信託の信託財産(有価証券)に係る含み損益が前期△19億円、当中間期0億円、当期0億円あります。

⑥ 第3分野商品の販売状況

種目	2010年3月期 累計件数		左記件数の内訳	
	件数	前期比増減件数	本体	子会社
契約件数	1,021,057件	159,429件	800,435件	220,622件

(注) 本体、子会社別の件数およびその合計の2009年4月～2010年3月の医療保険・がん保険の累計販売件数を記載しております。

⑦ 自然災害の影響

(単位：億円)

	2009年3月期	2009年9月中間期	2010年3月期
元受保険金 a	86	32	130
正味保険金 b	61	25	116
未払保険金 c	2	4	15
正味発生損害額 b+c	64	30	132

(注1) 当期中に発生した自然災害にかかる支払保険金および未払保険金を記載しております。

(注2) 未払保険金は支払備金から回収支払備金を控除しております。

⑧ 異常危険準備金の残高・積立率・繰入額

(単位：億円、%)

種目	2009年3月期			2009年9月中間期			2010年3月期		
	残高	積立率	繰入額	残高	積立率	繰入額	残高	積立率	繰入額
火災保険	1,295	91.2	191	1,389	105.1	93	1,485	105.4	189
海上保険	253	84.8	11	257	106.0	4	262	110.5	8
傷害保険	876	69.4	39	896	66.4	21	845	67.5	39
自動車保険	475	7.3	475	331	5.1	196	386	6.0	386
その他	877	56.5	109	926	51.8	60	967	60.2	108
合計	3,777	34.1	826	3,801	34.1	376	3,946	36.2	732

(注1) 積立率 = 異常危険準備金の残高 / 正味収入保険料(除く家計地震・自賠償) × 100

なお、中間期については、正味収入保険料(除く家計地震・自賠償)を2倍した上で算出しています。

(注2) 繰入額は、取崩額控除前のグロスの繰入額を記載しております。

⑨ 受再保険引受状況

(単位：億円)

種 目	2009年3月期		2010年3月期	
	受再正味保険料	受再正味保険金	受再正味保険料	受再正味保険金
火 災 保 険	188	91	177	85
海 上 保 険	100	49	71	50
傷 害 保 険	13	7	10	6
自 動 車 保 険	4	5	35	18
自 賠 責 保 険	1,192	1,604	1,085	1,543
そ の 他	110	75	129	201
合 計	1,610	1,833	1,510	1,906

⑩ 出再保険状況

(単位：億円)

種 目	2009年3月期		2010年3月期	
	出再正味保険料	出再正味保険金	出再正味保険料	出再正味保険金
火 災 保 険	574	101	588	78
海 上 保 険	153	68	122	68
傷 害 保 険	28	19	24	17
自 動 車 保 険	24	17	33	19
自 賠 責 保 険	1,298	1,776	1,205	1,725
そ の 他	215	65	251	113
合 計	2,293	2,050	2,227	2,023

証券化商品等に対する 当社のエクスポージャーについて(2010年3月末)

2010年5月20日

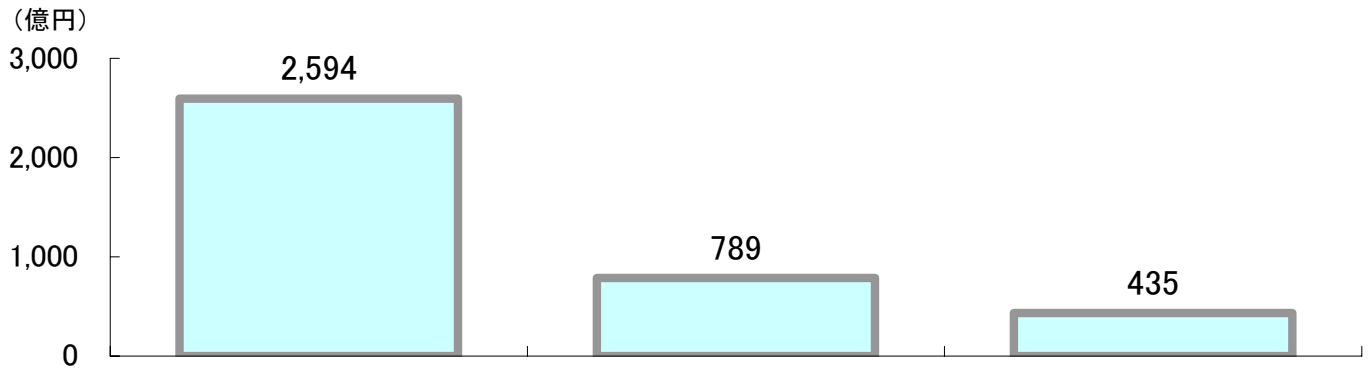
株式会社 損害保険ジャパン

金融保証保険の概要

2009年度損益 (金融保証保険全体) △80億円 (ABS-CDO保証△74億円、ABS-CDO保証以外△5億円)
 ※ABS-CDO保証の一部案件において支払備金を積み増した事等によるもの

ABS-CDO保証のネットエクスポージャー 支払備金控除後のABS-CDO保証残高は435億円 (2009年3月末比354億円の減少)

ABS-CDO保証のネットエクスポージャー推移



(単位:億円)

ABS-CDO保証(残高)	2008年3月末	2009年3月末	2010年3月末
保証残高	2,894	2,180	1,231
支払備金引当済	△ 300	△ 1,390	△ 795
支払備金控除後保証残高	2,594	789	435

ABS-CDO保証(損益)	2007年度	2008年度	2009年度
支払保険金(含む合意解約)	-	△ 376	△ 632
支払備金積増/取崩(含む為替ヘッジ損益)	△ 300	△ 1,090	557
損益	△ 300	△ 1,466	△ 74

<資料1> 金融保証保険

(2010年3月末、単位:億円、1ドル=93.04円)

区分	保証残高					2009年度 損益 (注8)	
	元受 (注6)	特約受再 (注7)	合計	支払備金 引当済	支払備金控除後 保証残高		
CDO	ABS-CDO(2次証券化商品)(注1)	1,224	6	1,231	795	435	△74
	企業CDO(1次証券化商品)(注2)	1,696	23	1,720	-	1,720	-
	小計	2,921	30	2,952	795	2,156	△74
ABS	RMBS(注3)	380	119	499	5	494	△5
	海外RMBS	(-)	(119)	(119)	(5)	(114)	(△5)
	国内RMBS	(380)	(-)	(380)	(-)	(380)	(-)
	CMBS(注4)	-	-	-	-	-	-
	その他ABS	129	287	417	5	411	0
	海外ABS(注5)	(36)	(287)	(324)	(5)	(318)	(0)
	国内ABS	(93)	(-)	(93)	(-)	(93)	(-)
小計	510	406	916	10	906	△6	
米国地方債等	-	1,930	1,930	0	1,929	0	
合計	3,431	2,367	5,799	806	4,992	△80	

(注1) ABS-CDO(2次証券化商品)とは、RMBSやCDO、CLO等の証券化商品を裏付として更に証券化した2次証券化CDO

(注2) 企業CDO(1次証券化商品)とは、社債や企業融資、個別銘柄のCDSなど企業の信用リスクを直接の裏付資産としている1次証券化CDO

(注3) RMBSとは、住宅ローンを裏付として発行される証券。93%が投資適格クラス(BBB格以上)であり、うち78%はAAA格である

(注4) CMBSとは、商業用不動産ローンを裏付として発行される証券

(注5) 海外ABSのうち、米国の個人ローン関連ABSは8%であり、その他は主に企業関連与信(リース債権等)などが占める

(注6) 元受には、他社からの任意再保険契約、および米国モノライン保証債に対する金融保証保険(98億円)を含む

(注7) 特約受再とは、元受会社が引受けた保険契約の一定割合を再保険として引受ける契約

(注8) 損益合計△80億円の内訳は、支払保険金△638億円(保険契約者との合意解約に伴う一括精算金△475億円を含む)、支払備金増減による影響+595億円、支払備金に係るヘッジ損益△37億円。なお、金融保証保険は保険契約であるため、評価損益、含み損益はない

<資料2> 金融保証保険：ABS-CDO保証案件一覧(特約受再を除く)

(2010年3月末、単位：億円、1ドル=93.04円)

案件番号 (注1)	案件格付 (S&P/MDY) (注2)	発行年度	保証残高 (注3)	劣後割合 (注4)	裏付資産の格付別構成割合						サブプライム 比率
					AAA	AA	A	BBB	BB以下	内デフォルト等 (注5)	
CDO保証①	AAA/Caa2	2003	93	17%	33%	10%	5%	15%	37%	5.5%	0%
CDO保証②(注6)	AAA/Aa3	2004	59	51%	34%	34%	0%	9%	23%	19.3%	0%
	AAA/Aa3	2004	100	29%							
CDO保証④(注7)	CCC-/B3	2004	116	14%	11%	21%	10%	10%	48%	3.7%	9%
CDO保証⑤(注7)	CC/Caa2	2005	111	14%	1%	9%	5%	4%	81%	10.3%	15%
CDO保証⑦	CCC+/C	2006	186	8%	4%	19%	28%	12%	36%	0.0%	31%
CDO保証⑨	-/Ca	2006	279	23%	6%	4%	5%	4%	82%	23.0%	9%
CDO保証⑪	B-/Caa1	2004	279	19%	1%	19%	18%	16%	45%	15.8%	-
ABS-CDO 合計			1,224	18%	8%	15%	12%	8%	57%	9.7%	-

支払備金控除後保証残高

429

(注1) CDO保証③、⑥、⑧、⑩、⑫は、保証契約者との合意解約および当社保証部分の全額償還により保証終了となったため、案件一覧から除外している

(注2) 案件格付は2010年4月末時点。なお、CDO保証④、⑤は任意受再案件であり、2案件の格付は、当社保証部分より上位クラスを含む出再会社の保証部分全体に対する格付である

(注3) 保証元本額であり、一部の案件では、他に利払いを保証対象としている。なお、この保証対象の元利払いが不足した場合に当社の保証履行義務が生じる

(注4) 劣後割合は、当社の保証する優先部分よりも下位に位置する劣後部分の裏付資産に対する割合。なお、優先部分の元本償還に伴い劣後割合は増加する

(注5) 案件ごとに規定されているデフォルト定義等に基づき判定を行い、回収考慮後の元本毀損額としている

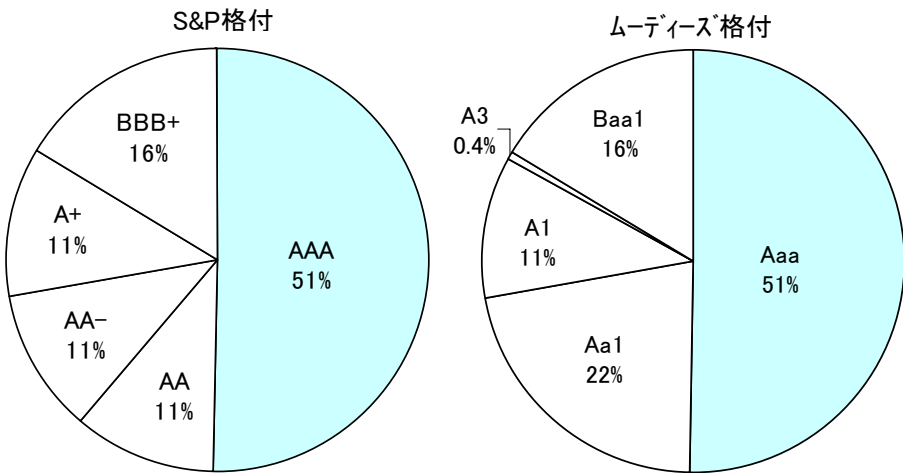
(注6) CDO保証②は、同じCDOの異なるクラスを保証している

(注7) CDO保証④、⑤は、裏付資産全体の格付水準に連動する格付基準値がトリガー値を下回った場合、投資家の選択により全裏付資産を第三者に売却してCDOを清算できる仕組みを持つが、CDO⑤は清算の可能性はなくなっている

<資料3> 金融保証保険：企業CDOの状況（特約受再を除く）

- 元受企業CDOの保証残高は1,696億円であり、個別案件を精査した結果、現時点で損失を見込んでいる案件はない。
- 元受企業CDOの平均残存期間は約2.4年であり、2012年度末までに約1,420億円（元受企業CDOの約84%）が償還となる見込み。
- 当社が保証する企業CDOは、1案件150銘柄程度の分散された参照企業から構成されており、1企業のデフォルトによる影響は限定的である。
- 金融機関の比率は13%程度、米国自動車関連（部品を含む）の比率も1%程度であり、業種および特定企業への偏りはない。

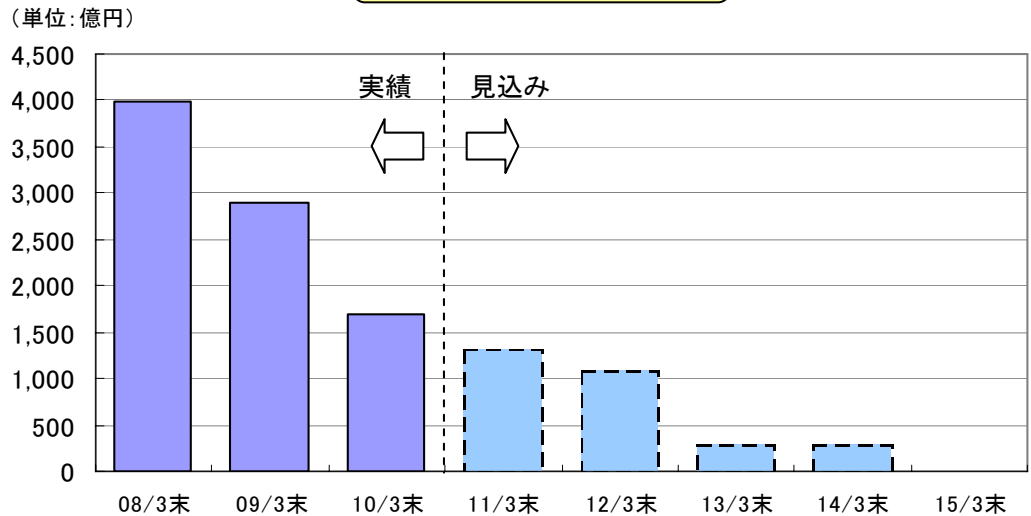
案件格付の構成比



(注)2010年4月末時点の格付。S&P格付を取得していないものは穆ティース格付を準用

(注)2010年4月末時点の格付。穆ティース格付を取得していないものはS&P格付を準用

保証残高推移見込



(注)2010年3月末為替レートによる残高推移見込

<資料4>証券化商品等への投融資

(2010年3月末、単位:億円、1ドル=93.04円)

区分	残高	2009年度損益状況			
		評価損等(P/L)	含み損益	損益計	
CDO	ABS-CDO(2次証券化商品)(注1)	0	0	-	0
	企業CDO(1次証券化商品)(注2)	-	-	-	-
	小計	0	0	-	0
ABS	RMBS(注3)	318	0	0	0
	海外RMBS	(24)	(-)	(△4)	(△4)
	国内RMBS	(293)	(0)	(3)	(3)
	CMBS	146	0	△7	△7
	海外CMBS	(10)	(-)	(△1)	(△1)
	国内CMBS	(136)	(0)	(△5)	(△5)
	その他ABS	7	-	△1	△1
	海外ABS	(7)	(-)	(△1)	(△1)
	国内ABS	(-)	(-)	(-)	(-)
	小計	472	0	△8	△8
SIV(投資ビークル)への投資	-	-	-	-	
レバレッジド・ファイナンス(注4)	24	-	-	-	
合計	497	0	△8	△8	
【参考】ヘッジファンド(米国サブプライムローン関連エクスポージャー)	+14	買建(ロングポジション)と売建(ショートポジション)をネットしたエクスポージャー			

(注1)ABS-CDOはすべて海外案件(BBB未満)

(注2)企業CDOには財政融資CLOを含まない

(注3)RMBSには政府系機関が発行するRMBSを含まない。ほぼ全額が投資適格クラス(BBB以上)であり、うち82%はAAA

米国住宅金融公社関連のエクスポージャー(RMBS、機関債)は、613億円(2009年3月末対比13億円増加)。評価損等(P/L)は発生していない

(注4)レバレッジド・ファイナンスとは、企業の買収・合併の際に提供される、主に被買収企業のキャッシュフローに依拠したファイナンス。すべて国内案件